

# 米、イラク攻撃開始

## フセイン政権打倒へ ブッシュ大統領が発表

【ワシントン19日共同】渡部陽介「ブッシュ米大統領は十九日午後十時十五分(日本時間二十日午後零時十五分)、イラクに対する軍事作戦を開始したと発表した。米英軍はイラクに対し巡航ミサイルを発射するなど空海からの爆撃を始めた。」



20日、米艦船からイラクに向けて発射される巡航ミサイル・トマホーク(ロイター共同)

ブッシュ大統領は「目的は脅威の除去以外に野心はない」と述べ、フセイン政権打倒が目標であると強調。「攻撃は予想以上に長引き、困難なものになり得る」と語った。

米CNNテレビが国防総省の情報として伝えたところによると、米軍はイラクへの巡航ミサイルによる攻撃を行った。未明のバ

グダッドでは激しい対空砲火が行われている。AP通信は、攻撃対象はバグダッド近郊のイラク指導部がいるとみられる施設だと伝えた。

ペルシャ湾に展開している空母エーブラハム・リンカーンなどから発進した戦闘機、爆撃機が、精密誘導爆弾や巡航ミサイルなどでイラクを空爆した。米軍は開戦直後の二日間に約三千発を投下、イラク軍の戦意喪失を狙い、早い時期に地上戦に入るとみられる。

米英両国は既に二十八万人の兵力をイラク周辺に集結。クウェート駐留の米英軍部隊が十九日、イラク国境の非武装地帯に入るなど前線での動きを活発化させていた。